

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



ガールスカウト
とクリン作戦



第11回 チャリティーコンサート

2024-25年度 RI会長/ステファニー・アーチック
RI.D2590ガバナー/長戸はるみ
横浜旭RC会長/北澤 正浩

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区万騎が原33/〒241-0836
TEL.080-1215-6668/FAX.045-362-0024
<http://yokohamaasahirc.org>
Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川駅ジョイナステラス3/4Fコミュニティサロン
例会日 月3回水曜日/12時30分~1時30分

2024年9月11日 第2555回例会 VOL.56 No.8

- 司会 SAA 関口 大樹
- 開会点鐘 会長 北澤 正浩
- 斉唱 我等の生業
- 出席報告

会員数	20名	本日の出席数	14名
本日の出席率	70.00%	修正出席率	68.42%

■本日の欠席者

福村、中谷、二宮、佐藤(勉)、宋

■他クラブ出席者

安藤(地区)、新川(上方RC)

■ゲスト

吉田 善成様(神奈川県旭警察署長)
小川 克生様(旭警察署 住民相談係)

■会長報告 北澤 正浩

皆さん、こんにちは。今月は「基本的教育と識字率向上月間」です。ロータリークラブ全体で、教育と識字率の向上に力を入れる大切な期間となっています。教育は、個人の成長だけでなく、地域や国全体の発展においても非常に重要な役割を果たしています。特に、読み書きの能力、すなわち識字率が向上することで、人々は新たな可能性を手にすることができます。

まず、なぜ教育が重要なのか考えてみましょう。教育は単に知識を与えるだけでなく、考える力や問題解決能力、協力する心を育てます。

教育を受けた人々は、より良い仕事に就く機会が増え、自分の未来を自ら切り開く力を持つことができます。

しかし、世界にはまだ十分な教育を受けられない人々が多くいます。経済的な理由や住む場所、社会的な背景により、学ぶ機会が制限されているのです。私たちロータリアンは、こうした人々が教育を受けられるよう支援する使命を担っています。

基本的教育の推進や識字率の向上には、さまざまな良い影響があります。以下のような重要な効果が期待されています。

- すべての女性が初等教育を修了すれば、妊婦の死亡率が66%減少する。
 - 読み書きができる母親を持つ子どもは、できない母親の子どもに比べ、5歳以上まで生き延びる確率が50%高い。
 - 低所得国で全ての生徒が読み書きを習得すれば、1億7,100万人が貧困から抜け出すことができ、これは全世界の貧困の12%に相当する。
- 一方で、課題も依然として存在しています。
- 世界で5,800万人の子どもが学校に通っていません。
 - 4年間の初等教育を受けても読み書きができない子どもが2億5,000万人います。

・7億8,100万人の成人が読み書きできない状態です。

ロータリーは、世界中で教育や識字率向上のためのプロジェクトを積極的に支援しています。学校の建設や教員の育成、教材の提供など、さまざまな形で支援活動を展開しています。特に、発展途上国では、子どもや大人が読み書きを学ぶ機会を増やすための活動が行われています。

私たちの地域でも、識字率を向上させるためにできることは多くあります。例えば、地元の学校や図書館と協力して読み書き教室を開いたり、個別指導を提供したり、教育資材を寄付することが考えられます。

このような活動を通じて、誰もが教育の機会を得られるようになれば、未来は明るくなります。識字率の向上は、個人の幸福、家庭の安定、そして地域社会の発展に大きく貢献します。「基本的教育と識字率向上月間」は、教育の大切さを再認識し、その普及に向けた行動を促すための重要な機会です。

皆さんも、この月間をきっかけに、教育と識字率向上のために一緒に取り組んでいただければと思います。

■幹事報告 市川 慎二
第8回理事会報告（p 8参照）

■ニコニコBOX

新川 尚／9月9日に大阪上方RCのチャーターナイトに行ってきました。「ポリオと青少年奉仕」に特化したクラブにするとのこと。チャーターメンバーは30人で、多くは若い、ロータリー未経験者とのことで、活気に溢れていました。

北澤 正浩／旭警察署長、吉田善成様、本日はおこしいたきありがとうございます。卓話よろしくお願ひいたします。

安藤 公一／吉田署長様、公務ご多用の中ご来訪ありがとうございます。宜しくお願ひいたします。

五十嵐 正／旭警察署長吉田様、本日はお忙し

いところクラブにいらして下さり、ありがとうございます。本日の卓話よろしくお願ひいたします。

佐藤 利明／旭警察署長吉田善成様、本日の卓話お忙しい中ありがとうございます。同じく旭警察署小林克生様、常日頃大変お世話になっております。本日はありがとうございます。

佐藤 真吾／旭警察署から吉田署長、小林様、本日は公務ご多忙の中、例会にお越しいたきありがとうございます。卓話よろしくお願ひいたします。

目黒 恵一／①旭警察署長吉田様卓話よろしくお願ひいたします。②10月14日二俣川銀座商店会フォルテ祭を開催させていただきます。よろしくお願ひいたします。

田川 富男／吉田旭警察署長様旭ロータリーによろこそ。日夜旭区民の安全と安心を頂きましてありがとうございます。

関澤 信吾／吉田署長、卓話楽しみにしています。

関口 大樹／旭警察署長、吉田善成様、本日の卓話よろしくお願ひします。

市川 慎二／旭警察署長吉田様、お忙しい中卓話ありがとうございます。小林様よろこそ。

岡田 隆／旭警察署長吉田様をお迎えして。

■卓話者 紹介 佐藤 真吾

1) 氏名 旭警察署長 吉田^{よしなり}善成

2) 経歴 長崎県出身。趣味は散歩。

これまでに主に鑑識課機動鑑識を始め、刑事部の各課を歴任され、直近では、刑事部刑事総務課刑事特別捜査隊長を務められた後、麻生警察署で署長を務められ、昨年の3月13日付けで、旭警察署の署長に着任されました。

就任にあたり、仕事をする上で大切にしている「住民の安全安心を守るためには、まず署員それぞれが家族、仲間、そして自分を大切に」をモットーに、署員一丸となり、管内治安維持に努められております。

■卓話 旭区の治安及び交通対策について

～神奈川県警察創立150周年旭警察署開署52



年を迎えて～

第1 はじめに

本日、9月11日と言えば、今から23年前の2001年（平成13年）テロ組織によりハイジャックされた航空機4機が、アメリカニューヨークの世界貿易センタービルや国防総省ビルに衝突したいわゆる同時多発テロにより、約3,000人が犠牲となりました。

その年から、世界でテロとの戦いと称した様々な作戦が繰り広げられました。

我々警察も、安全で安心して暮らせる地域社会の実現を県警察の運営指針に掲げている以上、こうしたテロも含めた犯罪行為には敢然と立ち向かっていかなければならないと常々考えています。

また、ほかにこの日にちなんだ出来事はないか調べたところ、警察庁で「警察相談の日」にも制定されているようです。他人事のようにですが…

これは、警察への電話相談番号が#9110にちなんだものです。

事件事故の緊急電話は110番通報ですが、それ以外の急を要しない事件事故や相談事などをこの#9110で受け付けています。

この電話は、架けた場所を管轄する都道府県警察が対応することになっており、当然、神奈川県内で架けた場合は、神奈川県警察本部で対応することになります。

導入が長くなりましたが、本日は、「旭区の治安及び交通対策について」お話をさせていただきます。

第2 旭区の治安対策について

1 県内及び旭区内の刑法犯認知件数について

【県内】			【旭区】		
	件数	(増減)		件数	(増減)
令和6年 (1月～8月)	29,254	645	令和6年 (1月～8月)	590	14
令和5年中	43,846	7,271	令和5年中	892	81
令和4年中	36,575	3,323	令和4年中	811	81

- ・ 刑法犯認知件数にあつては、増加傾向。
- ・ 令和4年から令和5年の大幅な増加は、コロナウイルスが沈静化し、社会活動が活発になったことが要因の一つ。

1 現状（県内及び旭区内の刑法犯認知件数など）数字は、過去2年に遡って比較しています。

県内、旭区内ともに刑法犯認知件数は増加傾向にあるのがわかると思います。特に、令和4年と令和5年を比較すると急増していますが、これは、コロナ禍で社会生活が制限されていた反動、これが要因とみています。

それでは、旭区内で特に注意を要する3つの犯罪について、説明してまいります。

2 特殊詐欺

特殊詐欺は、令和5年中、
県下 2,025件 被害総額 約45億7,000万円
旭区 57件 被害総額 約1億7,200万円
の被害が確認されています。

県内どこかで1日平均5.5件発生していることとなります。

また、県内の発生状況について令和4年まで遡って見ると、毎年2,000件を超える被害を認知しています。

今年は、昨年と比較して減少傾向ではあるものの、被害額がすでに約34億円を超えており、昨年を上回るペースとなっています。

【旭区内】			
	件数		被害額
		増減	
令和6年 (1月～8月)	50	6	約7,884万円
令和5年中	57	-20	約1億7,284万円
令和4年中	77	32	約1億4,578万円

旭区内にあつては、急増！

旭区内では、すでに昨年1年間の発生件数に届くペースとなっています。

参考まで、昨日現在、

発生件数は52件(+8件)、

被害総額約8,800万円

で昨年と比較しても急増と言っても過言ではなく、特殊詐欺被害緊急対策として、地区や年齢層を絞って集中的に警察官を投入して警戒を強化するなどの被害防止対策を実施しています。

区内の被害者については、その男女比が約6対4の割合で女性被害者が多く、年代別では、65歳以上の高齢者、特に75歳以上の後期高齢者がそのほとんど占めている状況です。

ただ、その年代については、特殊詐欺の手口によっては、低年齢化しています。

区内の発生分析では、預貯金詐欺、続いてオレオレ詐欺がそのほとんどを占めています。

ここに架空料金請求詐欺とありますが、件数は0(ゼロ)です。

この手口は他の手口に比べて被害額が少ない、また、恥ずかしくて言えないとの理由から被害届が出されていないということから件数は0(ゼロ)となっています。

このように、実際に被害に遭っているにもかかわらず、様々な理由で被害届を躊躇している数を併せると、その数は倍以上に膨れ上がります。

つまり、目に見えない暗数が存在するということを理解していただきたいと思います。

ここで、実際の犯人が厚木警察署員を騙って高齢者宅に電話をかけた通話内容を録音したものを聞いていただきます。

時間の都合上、多くを割愛させていただきますが、言葉巧みに被害者を騙している状況が聞いて取れます。

特殊詐欺は、このような電話から犯行が始まっているということを知っていただきたいということです。

そこで、どんな対策が有効かということになります。県警察では、固定電話の対策として、

「留守番電話の常時設定」「迷惑電話防止機能付き機器の設置」を推奨しています。

電話に出なければ、被害に遭うことがないと言っても過言ではありません。

今話しました迷惑電話防止機能付き機器については、旭区役所と協定を締結し、昨年100台、今年も100台を用意していただき、当署で被害に遭いそうな方や希望する方には無償で貸し出しています。

また、電話については、家族間であれば家族とわかるような合言葉を決めておくことも対策の一つになろうかと思えます。

二つ目、家族の絆、繋がりでブロックということですが、旭区人口約24万人の内、約3割が65歳以上の高齢者でその率は横浜市内でも上位(第2位)であります。

そこで、どうしても独居(一人暮らし)の高齢者が多くなっています。

お子さんやその家族が遠方などにおられる方、家族と暮らしていても昼間一人になってしまう方など、その環境は様々だとは思いますが、何より、家族間でコミュニケーションを図ることが重要です。

先程話しました合言葉もその一つです。

もともと身寄りのない方に関しては、町内会やご近所付き合いなど密にさせていただく・・・周りの人に気にかけていただくことが大事です。

三つ目は、特殊詐欺に関心を持つということです。

文字通り、犯人グループも平成の時代から延々と手を変え品を変えこの犯罪を犯し続けているわけですが、警察としても、様々な広報媒体を通じて特殊詐欺について広報活動を行っているところではあります。

やはり、他人事と考えず、明日は我が身、関心を持つことが用心にもつながると考えます。

次は、旭区内の刑法犯認知件数を引き上げている犯罪の一つ、乗り物盗についてです。

3 乗り物盗

乗り物盗は、自転車、オートバイを被害品とする窃盗事件の手口で、表には参考まで自動車盗についても数字を入れてみました。

旭区内の乗り物盗の発生状況ですが、この数字を見てもわかる通り、自転車については、1か月に約10台以上の自転車が盗まれていることになります。

参考まで、自動車については、ここ数年キャンインベーターという装置（車内のコンピュータ制御装置につないで不正信号を送り解錠する）を使用したり、リレーアタックと言って、スマートキーの微弱電波を悪用して解錠する方法で高級車を窃取する手口が多くなっています。

また、旧車と言われるような昭和、平成初期の車両もその対象になっています。

話を戻しますが、一般的に乗り物盗と言えば、駅前輪場や商業施設の駐輪場で無施錠の自転車、オートバイを足代わりに窃取するという手口になりますが、旭区内においては、さらに被害場所が広範囲となっています。つまり、各施設の駐輪場のみならず、一般住宅の敷地（車庫）やマンション、アパートなどの集合住宅の駐輪場もその被害場所になっています。

つまり、犯人たちは、自身が乗るためではなく、転売目的ではないかと思われるようなそんな被害も多く発生しています。

そこで、この乗り物盗の対策ですが、先程から無施錠と申ししていますが、つまり、鍵をかけないで駐輪しているもの、鍵のかけ忘れ、オートバイであれば鍵の抜き忘れが、この手口のほとんどとなっています。

よって、鍵をかけさえすれば、全くかけないよりは被害に遭う確率は低くなりますが、もう一つ、ツーロック（ダブルロック）を推奨しています。

ここまでやれば、ほとんど盗まれることはありません。

繰り返しますが、自転車やオートバイには必ず鍵をかける鍵を抜く、これ以上の対策はない

のではないかと思います。

次に痴漢や盗撮を含めた性犯罪についてです。

4 痴漢等の性犯罪

刑法には、不同意わいせつ罪や不同意性交罪などが規定されていますが、今回は、それまでには至らない暴行や神奈川県迷惑行為防止条例違反の部分について話を致します。

性犯罪というのは、はじめは異性等の姿を見たり、撮影したり、ちょっと触ったりということからはじまり、やがてそのことに満足できずエスカレートして不同意わいせつ罪や不同意性交罪に発展していきます。

そしてその行為は、欲望を満たすため性癖となって繰り返し犯行に及ん

でいます。つまり、このエスカレートする前にしっかりとその犯罪の芽を摘む必要がある。これが重要なんです。

旭区内の痴漢等の発生状況を見ると、季節柄女性が薄着となる夏場の発生が多くなっています。

手口としては、オートバイに乗って近づき、胸やお尻を触って逃げるといったものが多くなっています。

この手の犯罪も、認知が早ければ、防犯カメラ捜査でナンバーなどの特徴や犯人の着衣などが判明し、また、素手であればDNA型鑑定で犯人が割れることもあります。

この手口の対策ですが、普段から防犯意識を高める、つまり、犯人に隙を見せないことが重要だと思います。

では、その隙を見せないためにどんなことをすればいいかといことで、

- ① 夜間、歩きスマホやイヤホンをして歩かない。
- ② 人通りの多い道を選ぶ
- ③ 防犯ブザーの活用
- ④ 周囲に敏感になる

といったことが挙げられます。ほんの一例ですので、他にも自分を守るための方法を日頃から

考えおくことが重要です。

次に、悪質商法事案についてです。

5 悪質商法事案

悪質商法事案については、旭区内の刑法犯認知件数を引き上げている犯罪の一つというわけではありませんが、犯罪すれすれの迷惑行為とも言いましょうか、この手の警察相談が大変多くなっています。

まず、悪質商法とは、ということで、特定商取引法という法律に定められています。

手口としては、

訪問販売、通信販売、電話勧誘販売など7類型が指定されています。

今日ここで皆様にお話しさせてもらうのは、訪問販売や電話勧誘販売に分類されている押し売り、押し買い、送り付け商法、点検商法のうち、特に点検商法についてです。

この点検商法は、巧妙化、潜在化、広域化しやすい犯罪です。

では、点検商法とは何か…

点検商法とは、屋根や床下の無料点検と称して、「修理が必要」「隣家に迷惑が掛かる」「手遅れになる前に修理したほうがよい」などと言って高額な修理費用を請求する悪質商法です。

悪質なものは、自分が自ら屋根などを破壊して、さも以前から壊れているように装って話を持ち掛けてくるものもあります。

旭区内における点検商法などの相談件数になりますが、令和4年合計38件、令和5年合計35件に対し、令和6年は8月末ですでに39件の相談がありました。

では、その対策としてどのようなことがあるのか、お手元のチラシを見てください。

この法律には、クーリングオフという制度の説明がなされていますが、商取引に必要な手続きを踏まなければ契約が成立しないことと、正規に契約は成立しても、一定の期間であれば契約を解除できることとなっていますので、何よりも早期に警察への通報、相談をしていただければ対応できるということになります。

これも特殊詐欺と同様に、高齢者が狙われることが非常に多くなっていますので、特殊詐欺と同様に、この種事案に関心を持つ、家族の絆でブロックするといった取組が必要です。

次に旭区の交通対策についてです。

第3 旭区の交通対策について

1 現状（交通事故発生状況）

1 交通事故発生状況（8月末）		
発生件数(県内)	13332件	(前年同期比-665件)
負傷者数	15481人	(前年同期比-1058人)
死亡者数	65人	(前年同期比-6人)
発生件数(旭区内)	358件	(前年同期比+60件)
負傷者数	405人	(前年同期比+72人)
死亡者数	4人	(前年同期比+3人)

2 旭区内の交通死亡事故発生状況		
今年に入り、旭警察署管内で交通死亡事故が4件発生。		
1	2月14日 白根	タクシーと歩行者
2	2月14日 善部町	普通乗用車とバイク
3	3月3日 鶴ヶ峰本町	普通乗用車とバイク
4	3月29日 本村町	列車と歩行者
(高齢者が渡りきれずに衝突)		

今年に入り4件の交通死亡事故が発生しています。

軌道事故以外の3つの交通死亡事故について順次説明いたします。

1件目は、2月14日午後1時51分頃、国道16号線白根において83歳男性運転のタクシーが歩行中の84歳女性を轢過し同女性が死亡した事故です。

2件目は、同日の午後8時24分頃、善部町の交差点で右折しようとした23歳男性運転の乗用車に対向車線を直進してきた55歳男性運転のオートバイが衝突し、オートバイの男性が死亡した事故です。

3件目は、3月3日午後3時40分頃、国道16号線鶴ヶ峰本町において、路外施設を出て本線に右折流入しようとした27歳男性が運転

する乗用車に、右方から直進してきた20歳男性運転のオートバイが衝突し、オートバイの後部に乗車していた20歳女性が死亡した事故です。

3 旭区内交通事故の特徴

旭区内の交通事故の特徴についてまとめました。

令和5年中の人身交通事故は482件で、その約7割が二輪車事故、高齢者事故となっています。

また、令和5年中、子供の関連する事故は全体の6.6% (32件) で、一步間違えば重大事故につながる飛び出し事故も発生しています。

今年に入り昨日現在で、子供の関連する事故は23件で、その内飛び出し事故は4件あります。

4 交通事故防止対策

では、これら交通事故防止対策として、どのような取組みを行っているか説明してまいります。

春の全国交通安全運動キャンペーンでは、新入学児童を交通事故から守るということで、区内の希望が丘幼稚園保育園と旭あじさい保育園の先生に一日警察官を委嘱お願いし交通安全の啓発活動を行いました。

また、先程説明した死亡事故現場において、現地診断を行ったり、現場周辺において交通監視やレッド警戒、街角アドバイスをを行いました。

他にも区内の職域や学校などの施設において交通安全教育を実施しています。

第4 神奈川県警察創立150周年、旭警察署開署52年を迎えて

神奈川県警察は今年創立150周年という節目の年を迎えました。

明治、大正、昭和、平成、令和と脈々と歴史を刻んで参りました。

私は、昭和61年拝命でございます。150年の内のわずか38年ではありますが、それでも思い起こせば様々なことがありました。

良いことも悪いことも歴史に刻まれています。一つ一つの出来事は割愛させていただきます。

ただ、ひとつだけ、平成12年、神奈川県警

察から始まった不祥事、集団警ら隊による集団リンチや警察本部長以下幹部による覚醒剤事件の隠蔽など社会的反響も大きく、当時、警察本部前を通過する観光バスはスピードを落として通過していました。おそらく、ガイドさんが「ここが不祥事で有名な神奈川県警察本部です」などと紹介していたんだろうと誰もが思いました。

神奈川県警察はつぶれるんじゃないか、そんなことまで本気で思いました。私は、たまたま本部鑑識課に勤務していましたが、警察署など現場で勤務する警察官は、たいへんな罵詈雑言を浴びせられながら仕事をしていたと聞いています。

もう二度と、あの時代に戻ってはいけなと、それ以来心に誓ってきました。

ここ旭警察署は、昭和47年に保土ヶ谷警察署から分割開署となりました。

私が、第36代警察署長として昨年春に着任しましたが、様々な外郭協力団体の方々とお会いして、たいへん温かく人情味のある方々との印象を持ちました。

そして、緑多き歴史ある旭区という土地柄にも触れ、ここの治安は私が率いる旭警察署に任せろという気持ちにさえさせてくれました。

署員には、「家族、仲間、そして自分を大切に」と常日頃話しています。

署員が元気で明るく勤務できなければ、治安は守れないというのが私の信条です。

旭区の治安対策と交通対策について縷々話してまいりましたが、警察のみで取り組んでいくことには限界があります。

やはり、区民の皆様の御理解と御協力、そして積極的な参画意識があってこそ、安全で安心して暮らせる地域社会の実現、「安全で安心な街旭区」が実現されるのではないかと思います。

今後も、治安の砦たる旭警察署は私以下署員一同、全力で取り組んでいく所存でございます。

ご清聴ありがとうございました。

■次週卓話 9/25 休会

10/2 米山フォーラム

2024~25 年度 横浜旭ロータリークラブ
第 8 回 理事会 報告書

日時 令和 6 年 9 月 4 日(水) 出席者 北澤正浩 安藤公一 五十嵐正 岡田 隆
13 時 30 分より 佐藤真吾 新川 尚 田川富男 市川慎二 関口大樹
場所 例会場

【報告事項】

地区関係

- 1) 11 月 15 日(金) 地区大会横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ 5 階
- 2) 11 月 16 日(土) 地区大会パシフィコ横浜会議センター 1 階

【クラブ関係】

- 1) 8 月 29 日に北澤会長市川幹事で、矢田昭一名誉会員への弔問（香典 2 万円）

【審議事項】

- 1) 二俣川商店街フォルテ祭について

社会奉仕委員会より説明があり、昨年同様の内容で、国際協力 NGO Act for Child と合同で開催する。
また、令和 6 年 12 月 14 日(土) 神奈川近代文学館で開催するイタリアの防災事情を聴く講演会の
広報と募金活動を行う。 承認

- 2) 旭ふれあい区民まつりについて

社会奉仕委員会より説明があり、昨年同様の内容で、クラブの活動報告とてんでんこを配布する。
また、令和 6 年 12 月 14 日(土) 神奈川近代文学館で開催するイタリアの防災事情を聴く講演会の
広報と募金活動を行う。 承認

- 3) 夜間例会における例会場および食事提供について

現状の場所での食事のゴミの片付けなどが難しいため、別の会場、レストランを探し
その後、今年度の予算も考えながら検討していく。見つかるまでは現状の通り。 承認

以上

2024 年度 8 月 出席率 一覧表

員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	
1	安 藤 公 一	100	0	100	12	二 宮 麻 理 子	0	0	0	
2	福 村 正	67	0	67	13	岡 田 隆	100	0	100	
3	日 向 彰	33	0	33	14	佐 藤 真 吾	67	33	100	
4	市 川 慎 二	67	33	100	15	佐 藤 利 明	－出席規定免除－			
5	五十嵐 正	100	0	100	16	佐 藤 勉	100	0	100	
6	北 澤 正 浩	100	0	100	17	関 口 大 樹	67	0	67	
7	草 柳 孝 広	67	0	67	18	関 澤 信 吾	67	0	67	
8	増 田 嘉 一 郎	－出席規定免除－			19	宋 謹 衣	0	0	0	
9	目 黒 恵 一	33	0	33	20	田 川 富 男	100	0	100	
10	中 谷 逸 希	0	0	0	21					
11	新 川 尚	100	0	100	22					
例 会 日		7 日		2 1 日		2 8 日				平均
例会出席率		$\frac{13}{19}$	68.42 %	$\frac{14}{20}$	70.00 %	$\frac{12}{19}$	63.13 %			
修正出席率		$\frac{13}{19}$	68.42 %	$\frac{14}{20}$	70.00 %	$\frac{13}{19}$	68.42 %			68.95 %